

## 1 CONFINTEA 「報告会」企画案の検討、準備計画策定（担当 荒井）

第4回運営委員会 2010/03/04 荒井容子

（三宅さんが担当を間違えてレジュメを用意してくださったのですが、日時を勘違いしており、時間配分が大幅に異なっています。

当初はこの三宅レジュメに修正を加えてと考えておりましたが、改めて、議論しやすいように、レジュメを、やはり担当どおり、荒井の方で作り直しました。

三宅レジュメを配布しますから、参考にしてください。）

### （1）全体運営委員会で確定した日時（4月10日か11日だった）・場所 確定

日程:4月10日（土）午後1時～5時 4時間とっている。

場所:法政大学（市ヶ谷キャンパス）ポアソナ - ドタワ - 24階B会議室

### （2）報告会の目的

1) CONFINTEA を活かすきっかけとする。

2) 活かす方法にはどのようなものがあるか。

2-1) ベレン行動計画の紹介と、これを活かす方法についての問題提起

2-2) 『市民社会組織レポート』の活用

3) 社会教育の重要性、成人教育の重要性をアピールする。

対象は

3-1) 「草の根会議」のメンバ - 団体、『市民社会組織レポート』執筆者

3-2) 多様な運動団体

3-3) 政府

3-4) マスコミ

### （3）今回の会議の構成

1) CONFINTEA の概要（極簡単に）

2) ベレン行動計画の紹介とその意義、限界、活かす方法

これを、『市民社会組織レポート』執筆者と結びつけて構成してみてもどうか。

具体的な報告者名をあげてみる。

4時間なので、二部構成にしてはどうか。そして休憩と前後に余裕をもたせる。

そうすると、第1パートと第2パートの構成になる。

第1パートはCONFINTEA の概要紹介として、短めにする。

第2パートはベレン行動計画、『市民社会組織レポート』も含め、これらをどう活かしていくか、その中身、それらにかかっている提言を二つ合わせて読み重ねることで、日本の社会教育の現状、あるいは海外支援における成人教育部分位置づけの問題を、ベレン会議が終わり、文書が出た段階で、改めて、国内関係者の間で、学びあい、確認しあう、そういう仕掛けの集会にしてはどうか。

# ユネスコ第6回国際成人教育会議 (Confintea VI)

## 企画案

日時: 2010年 月 日( ) 18:30 ~ 20:30 (開場 18:00 ~)

会場: 法政大学? 室

対象: 草の根会議参加団体関係者、50名

目的: 2009年12月にブラジル・ベレンにて開かれたユネスコ第6回国際成人教育会議に参加した関係者より会議の成果とプロセスを報告してもらい、会議のフォローアップの方策、今後の成人教育の課題について検討する。一般参加も可能とするが、草の根会議参加団体メンバーへの説明責任を果たすこととフォローアップの方策を検討することを目的とする。

内容:

進行: 布施さん(社会教育学会国際交流委員会)

1、草の根会議の取り組み 荒井さん(法政大学)

2、日本政府の取り組み 岩佐さん(文科省企画官)か笹井さん(国研)

3、会議、市民社会フォーラムの概要 湯本さん(立教大学)、写真つき

4、CSOのロビイング活動 三宅隆史(ASPBAE)

5、成果文書の意義 小荒井理恵(教育協力NGOネットワーク)

6、日本の成人教育の課題 野元弘幸(首都大学)

7、今後のフォローアップについての討論

- ・ 報告は質問含めて各10分で計60分、討論が60分
- ・ 自由討論では、フォローアップの方策についてアイデアを出し合うことを目的とし、最後に進行がまとめる。
- ・ 発表の概要、自由討論の概要は、草の根会議の報告書に掲載する。

配布物

報告会プログラム

発表レジメ

成果文書日本語訳

CSOコーカスの提言書

CSOコーカスの会議後の声明

広報: 草の根会議参加団体にメールで案内文を送付し、各団体でメンバーに広報してもらう。

申込、問い合わせ先: ?

スケジュール

3月4日 企画確定、会場予約

10日 案内文作成、広報開始

4月?日 発表レジメ締切

資料準備

?日 実施

野元弘幸

1. 情報交換

日本社会教育学会六月集会での特別報告

6月6日(日) 16:15-18:15 (2時間)

テーマ: 第6回国際成人教育会議の成果と今後の課題

報告者3名

- 大会概要(映像) -: 村上博光(甲南女子大学)、野元弘幸(首都大学東京)

- 政府代表の立場から

笹井宏益(国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)

- 市民社会団体「草の根会議」の立場から

荒井容子(法政大学、草の根会議世話人代表)

司会 藤村好美(群馬県立女子大学)

2. プログラム下訳

別紙

3. その他に翻訳すべき関連文書(案)

○市民社会フォーラム関連

- Civil society caucus proposals to strengthen the Belém Declaration

- Women's proposed amendments to the Belém Framework for Action

○CONFINTEA

- Executive Summary Global Report on Adult Learning and Education

5地区のレポート要約は必要ないか?

- 「公民館」ワークショップ関連 → 資料は?

- ポール・ベランジャー「レトリックから行動へ」(フランス語)

4. その他

- CSOとは別に、日本社会教育学会での報告書作成について

参加会員を中心に、論文募集して、出版社から出しては?

東洋館出版社から出す可能性

- 出席者が参加したワークショップなどを中心に、参加者レポートは?